

令和 6 年度

年間授業計画

教科

社会

科目

政治経済

教科： 社会

科目： 政治経済

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年

教科担当者：	A組	B組	C組	D組	岡田信昭	E組	F組	G組
使用教科書：	実教出版「詳述政経」							

教科 社会 の目標：

【知識及び技能】	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解する
【思考力、判断力、表現力等】	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明する
【学びに向かう力、人間性等】	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を涵養する。

科目 政治経済 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。	国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単 元 1 政治と法	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義について、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。	政治と法	現代日本の政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	4
	現代日本の政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けさせる。	教科書資料集	望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	よりよい社会の実現のために、民主政治の基本原則とその課題について多面的・多角的に考察、構想したことを社会生活に生かす。	資料調査	現実社会の諸課題について主体的に追究して、民主政治の基本原則における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。				
	単 元 2 民主政治と人権保障の発展	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	権利と義務との関係、議会制民主主義について、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。	民主政治と人権保障の発展	法の支配の考え方と自由権や社会権をはじめとする基本的人権の歴史的な発展、立憲主義の考え方について理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	7
	道徳や社会規範との違いから多面的・多角的に考察する。	教科書資料集	p.11の資料5「人権宣言」を活用して、どのように基本的人権の保障が条文で実現しているかを読み取り、それらを適切に表現している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	よりよい社会の実現のために、民主政治の基本原則とその課題について多面的・多角的に考察、構想したことを社会生活に生かす。	資料調査	現実社会の諸課題について主体的に追究して、民主政治の基本原則における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。				
	定期考査（第1学期中間考査）/返却と解説						
	単 元 3 世界の政治制度	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	議院内閣制・大統領制をはじめとする各国の政治制度について理解する。	世界の政治制度	p.17のCheckを通じて、それぞれの政治制度の特徴を比較の観点から適切に読み取っている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	4
	議院内閣制と大統領制について、多面的に考察し、適切に表現させる。	教科書資料集	議院内閣制と大統領制について、p.20「exercise」を利用して、多面的に考察し、適切に表現している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	よりよい社会の実現のために、民主政治の基本原則とその課題について多面的・多角的に考察、構想したことを社会生活に生かす。	資料調査	世界の政治制度について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。				
	単 元 4 日本国憲法の成立	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	二つの憲法の特徴と相違点について理解する。	日本国憲法の成立	憲法の最高法規性と憲法改正の手続きについて理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	7
	現代日本の政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けさせる。	教科書資料集	民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察し、表現している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	国民主権と民主主義について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	資料調査	現実社会の諸課題について主体的に追究して、民主政治の基本原則における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。				
	定期考査（第1学期期末考査）/返却と解説						

令和	6	年度	年間授業計画	教科	社会	科目	政治経済							
教科:	社会		科目:	政治経済	単位数:	2	単位							
対象学年組: 第 3 学年														
教科担当者:	A組		B組		C組		D組	岡田信昭	E組		F組		G組	
使用教科書:	実教出版「詳述政経」													

教科	社会	の目標:
【知識及び技能】	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解する	
【思考力、判断力、表現力等】	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明する	
【学びに向かう力、人間性等】	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を涵養する。	

科目	政治経済	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性及効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。	国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
2 学 期	単 元 5 平和主義	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	日本の安全保障政策の展開について理解する。	平和主義	1990年代以降の安全保障体制の変容とこにちの課題について理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	7
	民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察し、表現させる。	教科書資料集	日本の安全保障のあり方について、p.33「時事」を利用して考察・構想し、それらを適切に表現している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	現実社会の諸課題について主体的に追究して、民主政治の基本原理解における学習上の課題を考察する。	資料調査	我が国の安全保障と防衛について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。				
	単 元 6 基本的人権の保障	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	日本国憲法が保障する基本的人権について理解する。	基本的人権の保障	冤罪や死刑制度、さまざまな差別、生存権の保障など、人権に関する現実社会の課題について理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	8
	表現の自由の重要性について、考察・構想し、適切に表現させる。	教科書資料集	形式的平等と実質的平等について、p.41「seminar」を利用して考察・構想している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	基本的人権の保障とその課題について多面的・多角的に考察、構想したことを社会生活に生かす	資料調査	よりよい社会の実現のために、基本的人権の保障とその課題について多面的・多角的に考察、構想したことを社会生活に生かそうとしている。				
	定期考査（第2学期中間考査）/返却と解説						
	単 元 7 人権の広がり	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	新しい人権について理解する。	人権の広がり	環境権・知る権利・プライバシーの権利などの新しい人権の内容とそれらの権利が主張されるようになった背景について理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	8
	現代においても、さまざまな差別が残っていることを具体的な事例を通じて思考する。	教科書資料集	インターネット時代の人権保障について、p.46のコラムを利用して、多面的に考察している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	新しい人権の保障とその課題について多面的・多角的に考察、構想したことを社会生活に生かす	資料調査	よりよい社会の実現のために、新しい人権とその課題について多面的・多角的に考察、構想したことを社会生活に生かそうとしている。				
	単 元 8 立法	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	衆参両院の構成と衆議院の優越について理解する。	立法	二院制の存在意義と課題について、p.51の注①の記述から適切に読み取っている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	9
	現代日本の政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けさせる。	教科書資料集	政治家がなぜ必要なのかについて、p.53「政治Q&A」を利用して、考察を深めている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	よりよい社会の実現のために、日本の政治機構とその課題について多面的・多角的に考察、構想したことを社会生活に生かそうとしている。	資料調査	現実社会の諸課題について主体的に追究して、日本の政治機構における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。				
	定期考査（第2学期期末考査）/返却と解説						

令和	6	年度	年間授業計画	教科	社会	科目	政治経済
教科	社会		科目	政治経済		単位数	2
対象学年組：第 3 学年							
教科担当者	A組		B組		C組		D組
							岡田信昭
						E組	
							F組
							G組
使用教科書	実教出版「詳述政経」						

教科	社会	の目標：
【知識及び技能】	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解する	
【思考力、判断力、表現力等】	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明する	
【学びに向かう力、人間性等】	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を涵養する。	
科目	政治経済	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。	国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
3 学 期	単 元 9 行政	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	内閣の権限を、憲法の条文に基づいて理解する。	行政	議院内閣制のしくみや内閣の権限について理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	6
	現代日本の政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けさせる。	教科書資料集	p.58の記述を利用して、政治や行政における公文書の重要性について考察を深めている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	行政について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決させる。	資料調査	現実社会の諸課題について主体的に追究して、日本の政治機構における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。				
	単 元 10 司法	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	司法権の独立や裁判について理解する。	司法	司法権の独立や裁判のしくみ、各裁判所の役割について理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	6
	現代日本の政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けさせる。	教科書資料集	犯罪者の更生について、p.62のコラムを利用して考察を深めている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	司法とその課題について多面的・多角的に考察、構想したことを社会生活に生かす。	資料調査	現実社会の諸課題について主体的に追究して、日本の政治機構における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。				
	単 元 11 地方自治	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	地方自治の本旨について理解する。	地方自治	地方自治が住民自らの意思と責任の下で行われるものであり、民主政治の基盤をなすものであることについて理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	4
	戦後の地方自治の課題や地方分権改革について思考する。	教科書資料集	政党の対立軸について、p.73「exercise」を利用して考察し、適切に表現している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	地方自治とその課題について多面的・多角的に考察、構想したことを社会生活に生かす。	資料調査	よりよい社会の実現のために、地方自治とその課題について多面的・多角的に考察、構想したことを社会生活に生かそうとしている。				
	単 元 12 戦後政治の歩み	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	政党政治の歩みについて確認し理解する。	戦後政治の歩み	p.70「政治Q&A」を活用して、政党の役割と意義について理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	政党政治や選挙などの観点から、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。	教科書資料集	NS時代の情報発信のあり方について、p.78のコラムを利用して多面的・多角的に考察している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	戦後政治の歩みについて主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決する	資料調査	選挙制度と政党政治について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。				
	定期考査（学年末考査）/返却と解説						